

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～19℃台を示し、やや低め～やや高めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の75%（前年を上回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり4トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり141kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.4トンの水揚げで、前週の58%。（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり3kgの水揚げ（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり63kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、ウスバハギなどが1日1統当たり82kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり64kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり110kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ブリが1日当たり175kgの水揚げで、前週の64%（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/10～2/14の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、山口北西沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）4日延42隻、総計4,027箱、1航海最高345箱、平均95.9箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>